

曹青かわら版

平成二十六年後期号

平成27年3月31日

山口県曹洞宗青年会

会長 清木隆法



永平寺での差定

1日目

14:00 到着
14:30 開講式
15:00 坐禅
16:00 入浴
17:30 薬石
18:40 夜坐
19:20 法話
20:00 映画
21:00 開枕

2日目

4:20 起床
4:50 光明蔵へ
5:10 暁天中光拝
5:30 法堂へ
6:00 朝課
6:20 諸堂拝観
7:30 小食
8:30 下山

永平寺禅堂で坐禅を行う清木会長と磯部副会長



緑蔭禅のつどい50周年記念 永平寺参禅と吉峰寺参拝

永平寺禅堂での坐禅

平成26年11月8日(土)・9日(日)に「緑蔭禅のつどい」50周年を記念して、一般の方に禅堂での坐禅を体験して頂きたく大本山永平寺参禅・吉峰寺参拝を開催。15名の方々に参加して頂きました。



吉峰寺本堂でも坐禅を行う



永平寺諸堂拝観

緑蔭禅のつどい アンケート

◆本山で1泊2日体験して、永平寺の歴史の重みを十分感じました。雲水さん達の澄んだ眼と、身のこなしの軽やかさ、丁寧さに触れ、厳しい環境の中で辛い修業を乗り越えようとする強く真直ぐな気持ちに大いに感動しましたし、永平寺から去り難き名残りも残りました。

曹洞宗の脈々と続く文化。これからも仏法僧との縁を大切に日々努力していきたいと思っています。本当にありがとうございました。坐禅を続けたいと思います。

○60代男性
◆ガイドの方が一生懸命でよかったです。貴重な体験をさせていただき、今後の仕事や日常生活に大いに生かされることと思います。ありがとうございます。またの機会に参加できることを楽しみにしています。

○30代男性
◆永平寺に来たのも、坐禅も初めてだったので全てが目新しく感激でした。禅堂での坐禅という貴重な体験ができたのも嬉しかったです。厳粛な空気の中で修行僧の方の若々しいいきびきびとした動きも好印象でした。できたら今度は永平寺全体をもっとゆっくり拝観したいと思っています。又機会があったら参加したいです。
○50代女性

寺庭婦人セミナー

平成26年11月25日(火)、岩国市にて平成26年度寺庭婦人セミナーを行いました。午前中はうまもん(株)にてぬか床作り体験をし、午後は洞泉寺参拝、

ご住職石井祐光老師にご法話をして頂きました。

◆石井老師
「『楓葉霜を経て紅なり』これは禅の修行にも通じる。厳しい修

行をすることで人間が出来ていく。皆さんは若いから厳しく霜にあたって貰えれば晩年は真っ赤に

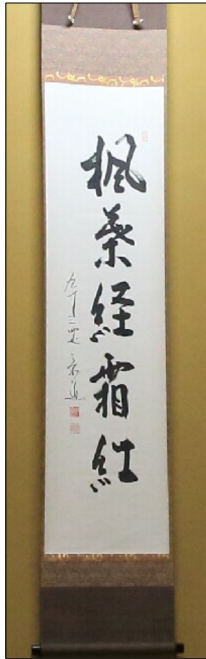
新聞によると『春夏に光合成を繰り返して栄養を蓄える。エネルギーが低下すると落葉の準備に入る。いつまでも葉を持っていると余計なエネルギー

を消費する。葉を自分の周囲に落とし、その有機物を栄養として根から吸い上げて再利用する。ただ葉を落とすには時間が掛かる。その間、葉に葉緑体があると、有害な活性酸素を生み出す。そこで色素を生成して赤くする。自然の摂理はため息が出る程無駄が無い。』それぞれが一生懸命に精進して頂きたい。」

紅葉出来る。



を消費する。葉を自分の周囲に落とし、その有機物を栄養として根から吸い上げて再利用する。ただ葉を落とすには時間が掛かる。その間、葉に葉緑体があると、有害な活性酸素を生み出す。そこで色素を生成して赤くする。自然の摂理はため息が出る程無駄が無い。』それぞれが一生懸命に精進して頂きたい。」



授戒会研修会

平成26年10月27日(月)、山口市法明院様を会場に、「授戒会研修会」を開催しました。

午前山口市長徳寺ご住職河谷正也老師、午後は山口市仁平寺ご住職田中大道老師にそれぞれ講義頂きました。

授戒会について

◆河谷老師

「禅僧は、その時やらねばならないことをやるのが大事。先とか前のことを考えすぎると今やるべきことが薄くなる。重きはここに置いておかなければならない。今日という風にしていくか唯心論唯物論両方を大事にした上で体験論。頭で考えるだけでなくやってみる。いかに布教の現場に生かせるか。」

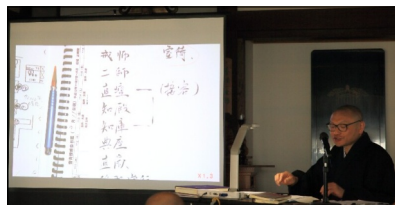
たとえば、ノーベル物理学賞の中村修二教授のコメント『どのように商品化しようかずっと考え

ていた。』ここが一緒。

その時その時は大事だけど自分の研究が生活に向き合っているかどうか。授戒も日々の生活が大きくなっただけのこと。あるいは葬儀の時、授戒の経験が活かせるか。あれはあれ、これはこれではなく全部繋がっている。教学をどうやって実践に生かせるか。大事だなど思ったら行動してみることに。

嗣法とお授戒は根底は一緒。それを見ずに『あれはあれ、これはこれ』というと修学と修行が離れてしまう。わからない言葉でも絶えず触れてお

くことが大事。自分の置かれてある立場で一生懸命過ごしているかが大事。お授戒の時でも、物事がすんなり進めばそれはそれで良いけど、一人ひとり人ひとりが緊張しながら一生懸命でいる。それが尊いと思う。」



戒について

◆田中老師

「正法眼蔵出家の巻に『しかもかくのごとくなりといふとも、畢竟じてとふべし、出家功德、それいくらばかりなるべきぞ。』出家の功德はどれくらいか。『かれにむかうていうべし、頂寧許なり。』頭剃っているかいないかの違いだけ。世間に『出家しているな』と分かることが大切。」

徒弟研修会日程

8/25 新山口駅—博多駅—伊万里—瑞雲寺—旗松亭
(中食) (宿泊)
8/26 吉野ヶ里遺跡—水前寺成趣園—阿蘇ファーム
(中食) (宿泊) ランド

8/27 阿蘇ファームランド—阿蘇さるまわし劇場—草千里—大宰府天満宮—博多駅—新山口駅
(中食)

瑞雲寺内

13:30 到着—開講式
14:30 坐禅—写経—法話
16:10 掃除—静座—移動

徒弟研修会感想文

平成26年8月25日(月)～27日(水)にかけて曹洞宗山口市泉宗務所と県青年会との共催にて行われた徒弟研修会参加者の感想文を紹介します。



「おてらで、ざぜんとしゃきょうをじょうずにできました。しんかんせんのにったこと、おんせんにはいったこと、さるまわしをみたこと、どれものしかなかった。かぴばらはかわいかったです。おさるさんもじょうずで、おもしろかったです。とてもたのしいといけんしゅうでした。」

○あわや かなえ

「おてらでは、ほっかいじょういんをおしえてもらい、ざぜんもしゃきょうもじょうずにできました。おんせんは、きもちよかったです。さるまわしも、しんかんせんやバスにのるのもせんぶたのしかったです。ひらめもおくもおいしかったです。またらいねんもさ

んかしたいです。」

○あわや すずか
「私が、この長崎徒弟研修に行って楽しかったことは二つあります。一つ目は、一日目の夜温泉に入った時の夜景です。そこには、平戸大橋が光っていたり、平戸城やきょうかいがライトアップしていました。すごくきれいで良いお湯だったのでぐっすりねてすっきり起きられました。朝も入り朝の風景もきれいでした。」

二つ目は阿蘇ファームランドに行ったことです。阿蘇ファームランドには、お店や遊ぶ所などがあってとても楽しかったです。特にこもう一度行ってみたいなど思った所は、温泉の後にいった、ドーム還元浴です。ドーム還元浴には、法光寺の静夏ちゃんと私のお姉ちゃんと私で行きました。静夏ちゃんは、ちょっと早めに上がって私は、少し長く入りました。どれもすごく楽しくまた行ってみたいと思いました。」

○吉川 有生子

第37回
中曹青広島大会平成26年10月16日(木)・
17日(金)にかけて、広島市ホテルサンルー
ト広島にて、中国曹洞
宗青年会連絡協議会主
催第37回中国曹洞宗青
年会広島大会が開催さ
れました。初日は、被爆者で語
り部の豊永恵三郎氏に体験談をお話し頂き、
平和記念公園にて記念
碑巡りを行いました。2日目は元中国放送
社社長・元広島市長の
平岡敬氏に「核時代を
生きる」、駒澤大学仏
教学部教授・長野県伊
那市常圓寺ご住職角田
泰隆老師に「仏教と不
戦と私」と題してそれ
ぞれ講演して頂きまし
た。

戒弟のつどい

のつどい」を開催しま
した。

◆藤田老師

平成26年10月28日(火)、
山口市法明院様を会場
に、「平成26年度戒弟のつどい」を開催しま
した。
「曹洞宗の教えの中
に」修せざれば現れず、証せざれば得ることな
し」やってみないとわ
からない。証明しない
と自分の物にならない
ということ。修証義の一番大事な
事は冒頭に書いてある。
「生を明らめ死を明ら
むるは仏家一大事の因
縁なり」生と死を明ら
かにすることが仏教徒
として最も大切な課題
である、と。でもそれ
では分からない。何故
説くか。今を生きる為。今を生きる為にお釈迦
様が説かれたお経を読
む。これが大前提であ
る。」

戒弟のつどい差定

10:00	開会式
10:30	坐禅
11:00	休憩
11:15	法話
12:15	法明院御住職 藤田和彦老師
13:15	中食
14:00	略布薩法要
14:45	閉会式



坐禅(中) 略布薩法要(下) 中食(上、右)の様子



戒弟のつどい参加者アンケート

今日一日ありがとうございました。久しぶりに坐禅をしまして、十数年前の出来事を思い出しました。日々わがままな生活をしてますから。少しは、がまん等々色々みつめなおす日でした。みのり多い一日をありがとうございました。

○女性

平成16年の授戒会から早や10年。現在では戒弟のつどいの参加者も20数名と少人数になってさびしいかぎりです。

○男性

おいしいお食事ありがとうございました。心の持ち方を思い出しました。お話ありがとうございました。

○女性

良かったと思う。若い坊様の数も少なくなつたよう思うが、よくしていただいたと感謝しています。来年も参加したいと思ひます。

○男性



浄青合同研修会

平成26年11月20日(木)、山口市禅昌寺様を会場に、浄土宗山口教区青年会の方たちとの合同研修会を開催しました。お寺の未来塾頭松本圭紹師を講師にお迎えし、「お寺の未来」データから読むお寺の危機と事例に見るお寺の可能性」と題して講義して頂き、午後からは未来の住職塾卒業生大野泰生師による事例発表、グループワークを行いました。

「よくされる質問に『宗派の違う人たちが集まる意味は?』檀家のある寺のあり方は宗派を問わず

一定。志を同じくすることで見えてくる意義は大きい。『お寺に経営のノウハウが必要?』運営管

理は企業のみならず全ての組織に必要。次に繋げる経営は一般企業以上に大切。『新しいことをすればいいの?』変わらないうちにお寺としての存在価値。ただ、次に繋げる為にも工夫は必要。『経営と仏教は関係無いのでは?』布教は大切だが、それを受け止めて貰える環境を整えることがお寺としての本分を全うすることに繋がる。

人口減。過疎化。変化に対してどのように向き合うか。今の立ち位置を把握しなければ良い一歩が踏み出せない。若い人たちにお寺の意義を伝える必要がある。」



松本師の講義(上) 4人一組でグループワーク(下)



涅槃会坐禅会

2月26日(木)、山口市禅昌寺様を会場に涅槃会法要・研修会を行いました。初めに涅槃会法要、次いで山口県立大学の鈴木隆泰先生を講師にお迎

えし、「輪廻と日本人」と題してご講義頂き、インドと日本に於ける生死しよつじ観について解説して頂きました。

涅槃会法要の様子



傳光録公開提唱

平成26年10月25日（土）、岩国市善福寺様の晋山結制にて行われる公開提唱を第3回弁道会として併催させて頂きました。石川県



根本仏教神話とは

平成26年9月16日（火）、山口市禅昌寺様を会場に第2回弁道会を開催しました。講師に山口市龍昌寺ご住職竹林史博老師をお迎えし「根本仏教神話とは？無我と輪廻を考える」と題してご講義を頂きました。

寒行托鉢

平成26年12月23日（火）、周南市徳山駅周辺にて第4回弁道会として寒行托鉢を行いました。



弁道会

大乗寺山主東隆眞老師に「傳光録―第51章道元禪師身心脱落―」の提唱を頂きました。



戒について

3月9日（月）、山口市源久寺様を会場に第5回弁道会を開催。山口市仁平寺ご住職田中大道老師を講師にお迎えし、「戒について」ご講義頂きました。



東日本大震災復興支援活動

平成26年12月15日（月）から18日（木）にかけて岩手県釜石市へ。また1月27日（火）から29日（木）にかけて福島県福島市で復興支援室分室のご協力の元、行茶活動を行いました。



釜石市桜木町仮設住宅にて 岩手県宗務所にて器物を借り受ける
福島市笹谷東部仮設住宅にて



山口市の曹洞宗の
比叅様 寒い中、遠方より
お参りいただき、ありがとうございます。

釜石市小佐野町仮設住宅



禅文化学林四国大会

3月3日(火)・4日(水)に愛媛県松山市松山市民会館・大和屋本店にて行われた全国曹洞宗青年会40周年記念・四国地方青年会30周年記念禅文化学林四国大会。共に生きる「ミュージカル「ブッダ」を通じて復興支援を考える」に参加しました。

1日目は松山市民会館に於いて、東日本大震災慰霊法要を厳修し、劇団わらび座によるミュージカル「ブッダ」公演を観賞しました。2日目は大和屋本店にて記念法要、グループワークを行いました。

左から、狼から生まれた(と思い込んでいる)タッタ、シッダールタ王子、盗賊ミゲラ。本大震災慰霊法要を厳修し、劇団わらび座によるミュージカル「ブッダ」公演を観賞しました。2日目は大和屋本店にて記念法要、グループワークを行いました。

ミュージカル「ブッダ」は手塚治虫原作の漫画「ブッダ」を基に、誕生から成道までの話。狭い舞台の上で、照明の使い分けで場面転換を表現し、特に最後の成道の場面ではホリゾン幕で川を表現していることに役者の演技と相まって感動を覚えました。

・災害時に何が不安ですか？
・災害時にお寺さんやお坊さんに期待する事、できる事ってなんですか
のテーマについて6人1グループになって話し合いました。



俳優インタビュー

「ブッダ」役 戎本みろさん、「ミゲラ」役 椿千代さん、「パーナディ王」兼「ヤタラ」役 岡村雄三さんのインタビュー



左から岡村さん、椿さん、戎本さん

戎本「全部で288回。今日が2回目。今日は2回目。今日は2回目。」

戎本「約1ヵ月。なにしろ台本を11回書き直して12回目でOKが出て、ギリギリで出来たので1ヵ月で歌もセリフも踊りも仕上げました。」

「ブッダ」役 戎本みろさん、「ミゲラ」役 椿千代さん、「パーナディ王」兼「ヤタラ」役 岡村雄三さんのインタビュー

戎本「いや、普段は僕の頭は人混みの中では目立つけれど、今日はロビーにいても違和感が無かった。『みろさん探すの大変でした。』と何人も言われた(笑)。」

タイ山岳民族教育支援活動

日付	要綱	クラフト売上	募金等
9月29日	7教区梅花特派研修会	¥20,700	¥7,500
9月30日	1教区梅花特派研修会	¥21,800	¥51
10月1日	3教区梅花特派研修会	¥4,200	¥250
10月2日	4教区梅花特派研修会	¥28,300	¥1,200
10月3日	9教区梅花特派研修会	¥23,200	¥4,000
11月18日	緑蔭禅のつどい	¥7,600	¥750
12月23日	弁道会徳山托鉢		¥43,156
1月31日	4教区心の大学	¥32,300	¥18,327
	その他宗門関係行持	¥739,830	¥341,460

支援活動記録

県青年会では平成23年より定期的に行われていた曹洞宗山口県宗務所災害支援活動部の活動を引き継ぐ事が平成26年12月4日（木）の臨時総会を以て決まりました。5年活動。

目を迎えて今までの活動を振り返りました。

累計日数は186日、参加したのべ人数は188人です。

※は県青年会としての活動。

班	自	至	日数	人数	活動場所	班	自	至	日数	人数	活動場所
1	H23/5/8	H23/5/13	6	7	陸前高田市気仙沼市釜石市	20	10/23	10/28	6	6	釜石市
2	5/15	5/21	7	7	気仙沼市山田町釜石市	21	12/12	12/14	3	3	釜石市
3	5/22	5/27	6	6	山田町釜石市	22	H24/1/23	H24/1/25	3	3	釜石市
4	5/29	6/3	6	4	郡山市仙台市	23	2/27	3/1	4	3	釜石市
5	6/5	6/10	6	6	釜石市	24	4/11	4/13	3	3	釜石市
6	6/12	6/17	6	6	釜石市	25	5/28	5/30	3	3	釜石市
7	6/19	6/24	6	6	山田町釜石市	26	7/10	7/12	3	3	釜石市
8	6/26	7/1	6	6	釜石市	27	9/24	9/28	5	12	釜石市
9	7/3	7/8	6	6	釜石市	28	11/25	11/29	5	6	釜石市
10	7/10	7/15	6	4	釜石市	29	12/17	12/21	5	3	釜石市
11	7/17	7/22	6	4	釜石市	30	H25/2/18	H25/2/20	3	3	釜石市
12	7/24	7/29	6	7	釜石市	31	5/22	5/24	3	5	釜石市
13	8/31	9/5	6	1	釜石市	32	7/8	7/11	4	3	釜石市
14	9/11	9/16	6	8	釜石市	33	9/9	9/12	4	8	釜石市
15	9/18	9/23	6	6	釜石市	34	12/10	12/13	4	3	釜石市
16	9/25	9/30	6	6	釜石市	35	H26/2/18	H26/2/21	4	3	釜石市
17	10/2	10/7	6	5	釜石市	36	6/17	6/20	4	3	釜石市
18	10/9	10/14	6	5	釜石市	※37	12/15	12/18	4	3	釜石市
19	10/16	10/19	4	8	釜石市	※38	H27/1/27	H27/1/29	3	4	福島市

学ぶことは
真似ること

宮崎禪師がよく仰つていた言葉であります。見やすい新聞とは何か。常々考えてはいたが、詰まるころ本家本元から真似ればいいのではと。レイアウトを注視して新聞を

見るとなるほどよく練られてゐる。5大紙では、説売朝日毎日産経は12段、日経は14段が基本。1段の文字数は日経11字、他12字。基本的に主見出しはゴシック体で袖見出し明朝体だが逆のケースもあり。一枚の紙面の中に同じ大きさの

従来のソフトから変更しました。まず文字の形を横に対して縦が80%程の“平体”が使えるようになり単純に10枚必要な紙面なら8枚で済む事が一番大きい変更点。他は読んで感じて頂きたい。これからより良いかわら版を皆様に届けるために邁進して参ります。

【お問い合わせ】

山口県曹洞宗青年会事務局

玖珂郡和木町和木 1
6
18

安禅寺内 村上邦明

電話 0827-534334